

2020年10月5日
フィデアホールディングス株式会社

投資信託業務におけるお客さま本位の業務運営の実現に向けた 地方銀行初の DX 化実証実験の開始について

フィデアホールディングス株式会社（代表執行役社長 田尾 祐一）は、フィデアグループの株式会社荘内銀行（取締役頭取 田尾 祐一）および株式会社北都銀行（取締役頭取 伊藤 新）が、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド（東京都千代田区 代表取締役社長 瓜生 憲）の連結子会社であるロボット投信株式会社（以下「ロボット投信」、東京都千代田区 代表取締役社長 野口 哲）と業務委託契約を締結し、ロボット投信が開発した「MINKABU FUND ANALYTICS」（以下、ファンド・アナリティクス）を活用した、投資信託業務におけるファンド提案やアフターフォローにおけるデジタル・トランスフォーメーション化（以下、DX 化）のための実証実験を 2020 年 10 月 5 日から地方銀行として初めて開始したことをお知らせいたします。

フィデアグループは、お客さまの安定的な資産形成に貢献するため、お客さま本位の業務運営を確実に実践すべく、適切な情報を分かりやすく提供するために有効な DX 化を積極的に推進してまいります。



(画面イメージ)

<次ページにつづく>

お問い合わせ先（報道機関窓口） IR グループ 大石 TEL 022-290-8800

「ファンド・アナリティクス」は、ロボット投信が開発した投資信託の基準価額変動の要因分析ツールで、独自モデルにより日次分析を可能とした SaaS（Software as a Service）型のクラウドサービスです。本サービスにより、複数の投資信託の基準価額の変動要因分析を合成することで、お客さまが保有する資産全体のポートフォリオの分析レポートを作成することが可能になります。

荘内銀行、北都銀行では、「ファンド・アナリティクス」を資産運用の専門担当者が使用し、お客さま個別の分析レポートとしてファンド提案やアフターフォローなどに活用します。

なお、今回の実証実験では、お客さまや担当者にアンケートを行い、レポートの見やすさ、分りやすさ、使いやすさについて、ロボット投信にフィードバックすることで、今後のサービス向上や機能拡充に活用してまいります。

□ 株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドの概要

会社名	株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
所在地	東京都千代田区神田神保町 3 丁目 29 番 1 号
設立年月日	2006 年 7 月 7 日
代表者	代表取締役社長 瓜生 憲
主な事業内容	メディア事業、ソリューション事業

□ ロボット投信株式会社の概要

会社名	ロボット投信株式会社
所在地	東京都千代田区神田神保町 3 丁目 29 番 1 号
設立年月日	2016 年 5 月 30 日
代表者	代表取締役社長 野口 哲
主な事業内容	運用会社向けの投資信託業務効率化・デジタル化ソリューションの提供、証券会社・銀行向けの投資信託販売・マーケティング業務効率化・デジタル化ソリューションの提供、投資信託データ、市場データの提供

以上